

# JTEKT

株主のみなさまへ

平成23年3月期中間報告書

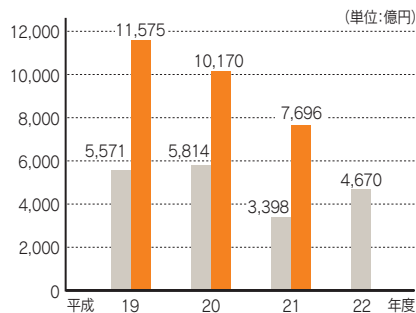
平成22年4月1日から平成22年9月30日まで



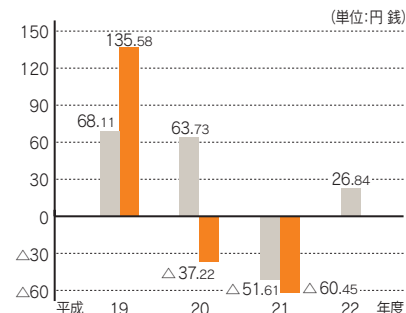
# Consolidated Financial Highlight

## 連結決算ハイライト

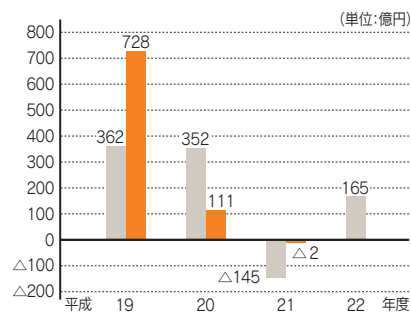
◎連結売上高



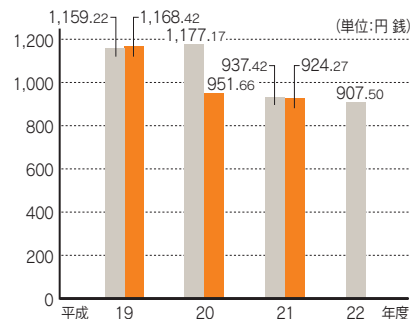
◎1株あたり(当期)純損益



◎連結経常損益



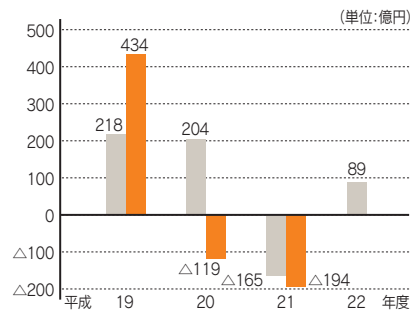
◎1株あたり純資産



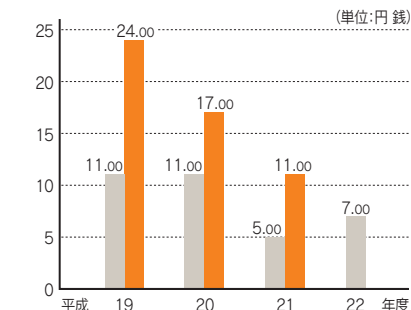
## 目次 Contents

- 連結決算ハイライト ..... 1
- 株主のみなさまへ ..... 2
- 新技術・新商品紹介 ..... 3
- CSR ..... 4
- グローバル事業活動 ..... 5-6
- 連結財務諸表 ..... 7
- 単独財務諸表 ..... 8
- 株式の状況/株価の推移 ..... 9
- 会社の概要 ..... 10

◎連結(当期)純損益



◎1株あたり配当金



■ 第2四半期累計期間 ■ 当期

# 株主のみなさまへ



取締役会長

高田 敏司



取締役社長

井川 正治

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜わり心から厚くお礼申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、急激な円高の影響はあったものの、政府の景気刺激策及び中国をはじめとするアジア諸国の需要の増加などにより、緩やかな回復を続けてまいりました。

また、海外におきましても、欧州各国においては、金融不安による景気悪化の懸念が継続していますが、中国・タイ・インドをはじめとする新興国においては、経済の回復傾向が持続しております。

このような状況の中で、当社グループの平成23年3月期 第2四半期の連結業績は、売上高は4,670億84百万円と前年同期に比べ1,272億35百万円、率にして37.4%の大幅な増収となりました。営業利益につきましては、売上高が大幅に増加したこと及び原価低減活動の効果などにより、168億64百万円の利益、経常利益につきましても、165億26百万円の利益となりました。また、四半期純利益につきましても、89億48百万円の利益となりました。

なお、平成21年12月にティムケン社からニードル軸受事業の買収を行った際に調達した短期借入金の返済と株主資本充実のために、平成22年6月及び7月に増資を実施し、174億の資本増強を行いました。

当期の中間配当金につきましては、1株につき7円とさせていただきます。

今後の見通しといたしましては、日本においては、円高の影響はあるものの、海外においてはアジアを中心として堅調に推移するものと考えられます。

当社グループといたしましては原価低減活動の更なる徹底等により、収益確保にむけてグループ一丸となって、みなさまのご期待に応えるべく努力してまいる所存であります。

株主のみなさまにおかれましては、なにとぞ変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。 平成22年11月

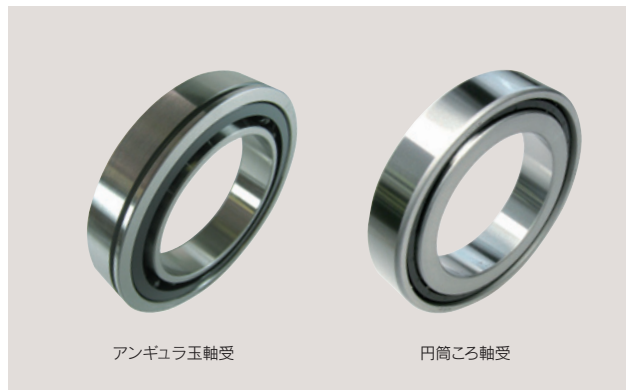
# 新技術・新商品紹介

良品廉価の安全で環境にやさしい商品・技術をご提供します。

### 工作機械主軸用超高速軸受を開発

工作機械主軸用の超高速アンギュラ玉軸受と円筒ころ軸受を開発しました。従来品に比べ20～30%高速性能を向上、軸受の昇温を30～40%低減し、オイルエア潤滑方式では世界トップレベルの軸受性能を誇ります。当新製品は高速性と高剛性を両立し、工作機械の切削効率と加工表面の品質を向上することができます。当社ハイアビリー（※1）シリーズのトップグレードとして拡販を進め、工作機械主軸用軸受のトップサプライヤーの地位を確保してまいります。

※1：ハイアビリーは株式会社ジェイテクトの登録商標です。



### 新興国向け工作機械を開発

～「eシリーズ」を発売～

新興国市場を対象としたマシニングセンタと研削盤「eシリーズ」3機種を開発しました。eシリーズはマシニングセンタ専用を開発したコンピュータ数値制御(CNC)装置「MC50」を搭載し、機能の“こだわり”と“割りきり”を追求することにより、圧倒的に使い易くコンパクトなマシンを実現しました。



### 中国 同济大学にジェイテクト共同研究室を開設

～中国 同济大学(上海市)で開設式典を開催～

当社は中国の同济大学と、自動車のアクティブセーフティ(予防安全)技術に関する共同研究室を開設しました。共同研究を通じて人材育成や技術の蓄積などを行い中国自動車産業の発展に貢献するとともに、将来的には共同研究の成果を具体的な製品開発へ展開してまいります。

#### アクティブセーフティ技術とは？

運転支援装置など、人と車の協調により事故を未然に防止する予防安全技術です。代表的な実用例としては、ABS(ブレーキによるタイヤロック防止装置)があります。



共同研究室開設式典

ジェイテクトは、社会から共感され、信頼される企業を目指して様々な活動に取り組んでいます。

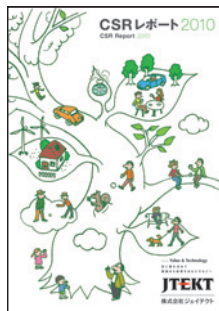
### 中国で内部通報制度を構築

2010年10月より中国ジェイテクトグループ全社で「内部通報制度」を構築し、運用を開始しました。この制度は社員が仕事に対する不安や不満を法律事務所に通報することができ、会社が積極的にその問題解決に取り組むことを目的としたものです。当社では昨今の労働問題を単に賃金労働環境だけの問題として捉えるのではなく、企業で働く人々の働きがいや生活の質の向上といった人間尊重の課題として受け止め、ジェイテクトグループ全体でのコンプライアンス活動を、今後一層強化してまいります。

### 「CSR Report 2010」発行のお知らせ

ジェイテクトでは、2009年度に取り組んだ活動と成果についてまとめ、「CSR Report 2010」として発行いたしました。あらゆるステークホルダーの皆様にご覧いただき、当社のCSRに対する考え方や取り組みをわかりやすく伝えるために、経済、社会、環境の観点からまとめたものです。

※弊社webサイトよりpdf形式にてご覧いただけます。  
[http://www.jtekt.co.jp/csr/en\\_rep.html](http://www.jtekt.co.jp/csr/en_rep.html)

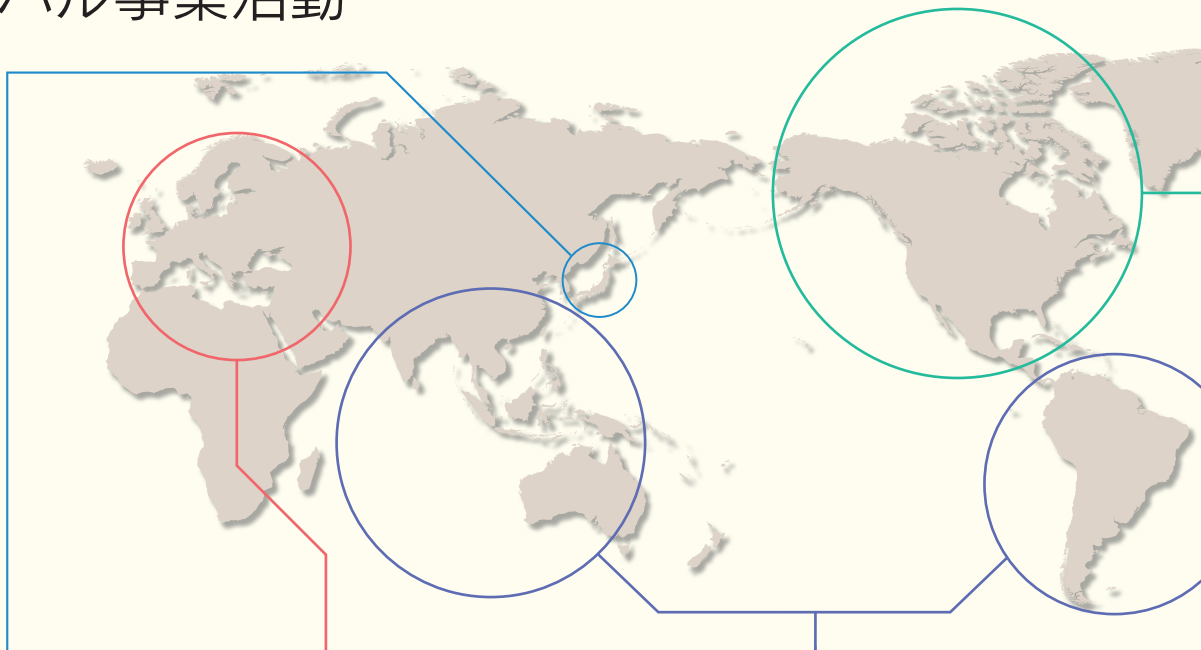


### タイで植樹活動を実施

タイの当社現地法人「JTEKT AUTOMOTIVE (THAILAND) CO., LTD.」はKao Cha Mao国立公園に、約200本の苗木を植えました。この国立公園は多種多様な植物と野生動物が棲む近隣住民の憩いの場として親しまれています。私たちは社会の一員であるという自覚を強く持ち、タイ国の社会の発展に貢献すべく、今後もCSR活動を進めてまいります。



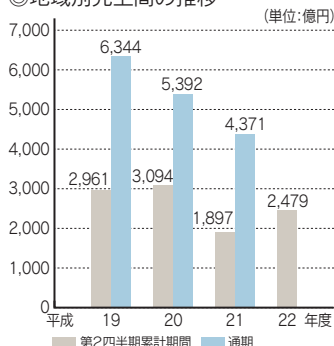
# グローバル事業活動



## 日本

連結会社 **41社**  
持分法適用会社 **6社**

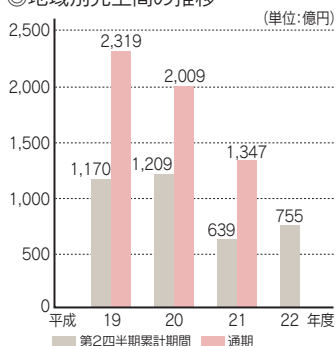
◎地域別売上高の推移



## 欧州

連結会社 **26社**  
持分法適用会社 **3社**

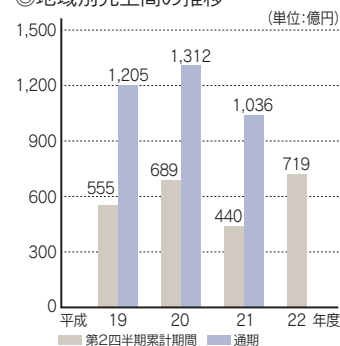
◎地域別売上高の推移



## アジア・オセアニア・その他

連結会社 **51社**  
持分法適用会社 **11社**

◎地域別売上高の推移



## Global Topics

### 中国 瓦房店軸承集団有限責任公司との軸受事業 合併協力意向書を締結

当社は、2010年9月28日に中国の瓦房店軸承集団有限責任公司(以下、ZWZ)と中国における自動車用軸受の生産・販売の合併会社設立に向けた「合併協力意向書」を締結しました。ZWZとは1995年に自動車ホイール用軸受の生産会社を設立し、協業してまいりました。今回、これまでの合併事業の枠を超え、自動車用軸受に留まらず、鉄道・風力発電用等の産業機械・市販分野での協業も視野に入れ、合併協力意向書を締結しました。今後、中国資本の

自動車メーカーへの拡販を図り、中国市場においても自動車用軸受のトップシェア獲得を目指してまいります。



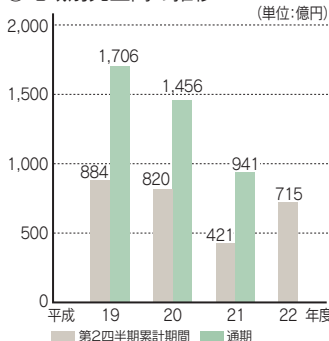
#### 【ZWZの概要】

会社名/瓦房店軸承集団有限責任公司 所在地/遼寧省瓦房店市 事業内容/各種軸受の生産・販売  
設立/1938年 資本金/360百万円(約43億円) 売上高/5,800百万円(約725億円)  
従業員数/約12,000名

## 北米

### 連結会社 17社

#### ◎地域別売上高の推移



### インドネシアに新工場建設 ～アセアン地域の事業基盤を強化～

当社は、アセアン地域の自動車及び二輪車の需要増加に対応するため、インドネシアの現地法人「PT.JTEKT INDONESIA(以下JID)」において、電動パワーステアリング、二輪車用スタータクラッチの現地生産を行ない、アセアン地域での事業基盤を強化してまいります。2011年10月から生産を開始する予定です。



JID工場完成予想図

#### 【JIDの概要】

会社名/PT.JTEKT INDONESIA 所在地/カラワン県スルヤチプタ工業団地  
事業内容/電動パワーステアリング、スタータクラッチの製造・販売等  
資本金/USD1,000千(約80百万円) 出資比率/ジェイテクトグループ100%  
工場規模/敷地面積10万㎡ 従業員数/約200名(2013年)

## 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

当第2四半期連結会計期間末

(平成22年9月30日現在)

科目	金額
<b>資産の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>440,723</b>
現金及び預金	62,378
受取手形及び売掛金	178,187
有価証券	45,531
棚卸資産	116,438
その他	39,225
貸倒引当金	△1,038
<b>固定資産</b>	<b>382,257</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>296,533</b>
機械装置及び運搬具	141,942
その他	154,590
<b>無形固定資産</b>	<b>9,072</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>76,650</b>
<b>資産合計</b>	<b>822,981</b>

(単位 百万円)

科目	金額
<b>負債の部</b>	
<b>流動負債</b>	<b>300,823</b>
支払手形及び買掛金	147,995
短期借入金	65,028
その他	87,798
<b>固定負債</b>	<b>191,967</b>
社債	40,000
長期借入金	84,026
その他	67,941
<b>負債合計</b>	<b>492,790</b>
<b>純資産の部</b>	
<b>株主資本</b>	<b>339,776</b>
資本金	45,591
資本剰余金	108,237
利益剰余金	186,325
自己株式	△377
<b>評価・換算差額等</b>	<b>△29,486</b>
その他有価証券評価差額金	7,827
為替換算調整勘定	△37,313
<b>少数株主持分</b>	<b>19,899</b>
<b>純資産合計</b>	<b>330,190</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>822,981</b>

## 連結損益計算書

当第2四半期連結累計期間

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(単位 百万円)

科目	金額
<b>売上高</b>	<b>467,084</b>
売上原価	400,061
<b>売上総利益</b>	<b>67,023</b>
販売費及び一般管理費	50,158
<b>営業利益</b>	<b>16,864</b>
営業外収益	3,834
営業外費用	4,172
<b>経常利益</b>	<b>16,526</b>
特別利益	1,137
特別損失	3,168
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>14,495</b>
法人税等	4,334
<b>少数株主損益調整前四半期純利益</b>	<b>10,161</b>
少数株主利益	1,213
<b>四半期純利益</b>	<b>8,948</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 単独財務諸表

## 貸借対照表

当第2四半期会計期間末

(平成22年9月30日現在)

科目	金額
<b>資産の部</b>	
流動資産	252,305
固定資産	373,317
有形固定資産	141,146
無形固定資産	2,828
投資その他の資産	229,341
<b>資産合計</b>	<b>625,622</b>
<b>負債の部</b>	
流動負債	203,878
固定負債	135,874
負債合計	339,753
<b>純資産の部</b>	
株主資本	278,615
資本金	45,591
資本剰余金	108,230
利益剰余金	125,132
自己株式	△ 339
評価・換算差額等	7,253
その他有価証券評価差額金	7,253
<b>純資産合計</b>	<b>285,869</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>625,622</b>

## 損益計算書

当第2四半期累計期間

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

科目	金額
<b>売上高</b>	<b>269,193</b>
売上原価	243,142
<b>売上総利益</b>	<b>26,051</b>
販売費及び一般管理費	21,741
<b>営業利益</b>	<b>4,309</b>
営業外収益	7,556
営業外費用	3,255
<b>経常利益</b>	<b>8,610</b>
特別利益	38
特別損失	1,712
<b>税引前四半期純利益</b>	<b>6,937</b>
法人税等	733
<b>四半期純利益</b>	<b>6,204</b>

### 中間配当金について

平成22年11月2日開催の当社取締役会において、平成22年9月30日最終の株主名簿に記録された株主もしくは登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当を支払うことを決議いたしました。

1. 中間配当金 1株につき7円
2. 効力発生日及び支払開始日 平成22年11月30日

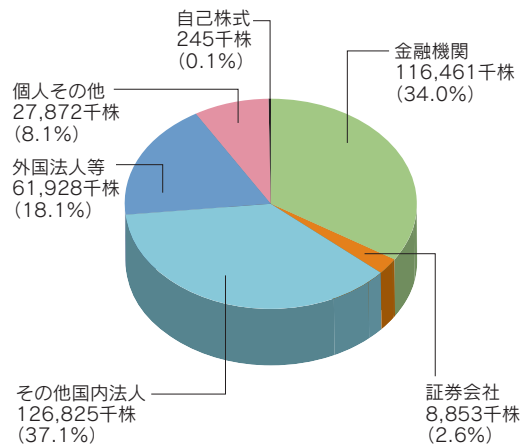
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株式の状況 (平成22年9月30日現在)

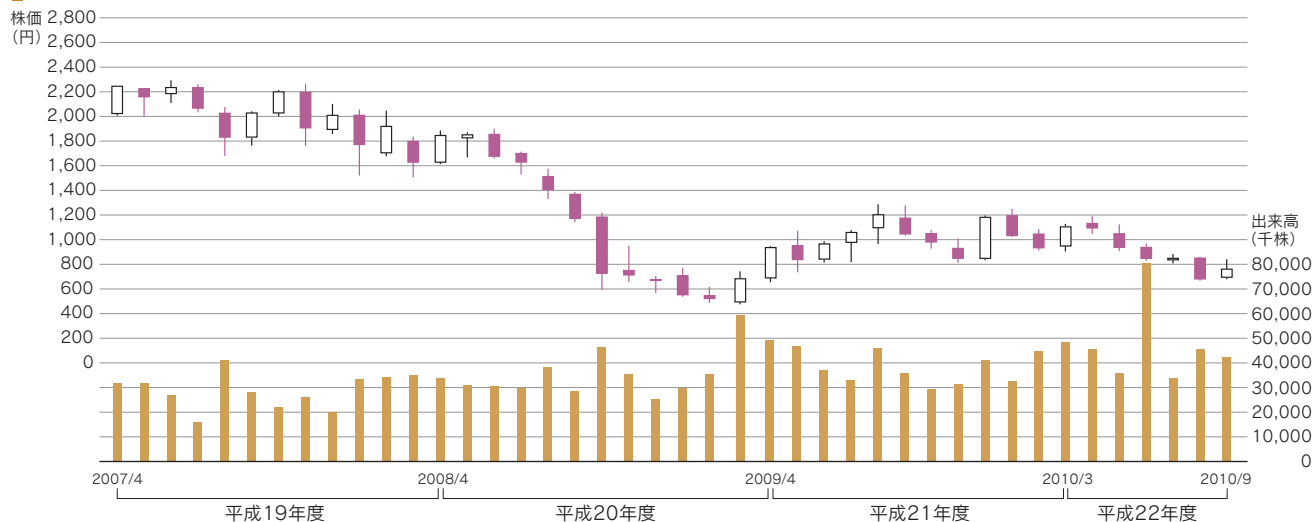
- 1. 株式の総数 発行可能株式総数 1,200,000千株  
発行済株式の総数 342,186千株
- 2. 株主数 23,803名
- 3. 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)
トヨタ自動車株式会社	77,235
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	19,862
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	19,028
株式会社デンソー	18,371
日本生命保険相互会社	12,361
株式会社豊田自動織機	7,653
株式会社りそな銀行	6,749
住友信託銀行株式会社	6,729
株式会社三井住友銀行	6,366
豊田通商株式会社	5,969

- 4. 所有者別分布状況  
(発行済株式の総数に対する割合)



## 株価の推移



# 会社の概要

商号(社名)	株式会社ジェイテクト JTEKT CORPORATION	資本金	45,591百万円(平成22年9月30日現在)
本店所在地	大阪市中央区南船場三丁目5番8号	従業員数	36,109名(平成22年9月30日現在(連結))
本社所在地	名古屋本社 名古屋市中村区名駅四丁目7番1号 大阪本社 大阪市中央区南船場三丁目5番8号		10,079名(平成22年9月30日現在(単独))
電話番号	名古屋本社 052-527-1900 大阪本社 06-6271-8451		

## 取締役及び監査役 (平成22年9月30日現在)

取締役会長	吉田 紘司	専務取締役	米田 孝夫	常勤監査役	榎本 真丈
取締役副会長	横山 元彦	専務取締役	河上 清峯	常勤監査役	藤井 博一
取締役社長	井川 正治	常務取締役	島谷 均一	監査役	深谷 紘一
取締役副社長	長井 正和	常務取締役	井坂 雅一	監査役	新美 篤志
専務取締役	久田 修義	取締役	内山田 竹志	監査役	小林立 正明
専務取締役	鈴木 隆昭				
専務取締役	伊藤 寛				

## 執行役員 (平成22年9月30日現在)

常務執行役員	角井 隆一	執行役員	堀内 雄介	執行役員	大村 秀一
常務執行役員	酒井 祥夫	執行役員	新井 東一	執行役員	山本 勝巳
常務執行役員	中谷 富造	執行役員	高橋 伴和	執行役員	島田 和典
常務執行役員	松本 久幸	執行役員	瀧井 裕一		
執行役員	貝嶋 博幸	執行役員	上川 正樹		
執行役員	北村 昌之	執行役員	植竹 伸二		
執行役員	入谷 清宏	執行役員	宮崎 博之		
執行役員	村瀬 昇也	執行役員	辻 義恵		
執行役員	仲村 元靖	執行役員	荒木 司豊		
執行役員	中野 史郎	執行役員	森		

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 6月  
株主確定基準日 (1)定時株主総会・期末配当金 3月31日  
(2)中間配当金 9月30日  
その他必要のあるときは、あらかじめ公告  
して基準日を定めます。  
公告の方法 当社のホームページに掲載いたします。  
[http://www.jtekt.co.jp/ir/notification\\_h.html](http://www.jtekt.co.jp/ir/notification_h.html)  
上場証券取引所 東京、大阪、名古屋

株主名簿管理人 及び 特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人 事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒183-8701  
東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎0120-176-417  
(インターネットホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

## お知らせ

【住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金の受取方法のご指定等のお届出及びご照会について】

- 株券電子化前に、証券会社等に口座をお持ちでなく、特別口座が開設された株主様  
上記の特別口座の口座管理機関である住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 証券会社等に口座をお持ちである株主様  
お取引先の証券会社等にお申出ください。

【未払配当金のお届出及びご照会について】

上記の株主名簿管理人である住友信託銀行株式会社にお申出ください。



<http://www.jtekt.co.jp>



この報告書は、環境に優しい大豆油インキを使用して印刷しています。